2012年7月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
雑誌		
1	著者名	小島　肇
	題名	技術講座　安全性評価試験（9）　代替法をめぐる新しい動向
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	COSME　TECH　JAPAN,　2（7）55-59（2012）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	シンポジウム：in vitro毒性試験法の探索毒性試験への展開、in vitro探索毒性試験の展望
	学会名,発表年月及び場所	第３９回日本毒性学学術年会、平成２４年７月１８-１９日、仙台国際センター
2	発表者名	山口宏之*[1,2]、小島　肇、竹澤俊明*[1]
	所属機関名	１：（独）農業生物資源研究所、２：関東化学株式会社
	演題名	コラーゲンビトリゲル膜チャンバー内に再構築したヒト角膜上皮組織シート：化学物質の眼刺激性評価指標としての経皮電気抵抗値の重要性
	学会名,発表年月及び場所	第３９回日本毒性学学術年会、平成２４年７月１８-１９日、仙台国際センター
3	発表者名	松本康浩*[1]、尾上誠良*[2]、細井一弘*[3]、若栗忍*[4]、岩瀬裕美子*[5]、山本敏誠*[5]、松岡奈央子*[5]、中村和市*[6]、戸田嗣人*[6]、高木広憲*[7]、大崎尚人*[7]、川上哲*[8]、世戸孝樹*[2]、加藤尚視*[2]、山田静雄*[2]、大野泰雄、小島肇
	所属機関名	*1あすか製薬(株)、*2静岡県立大学大学院薬学研究科、*3参天製薬(株)、*4（財)食品薬品安全センター、*5田辺三菱製薬(株)、*6塩野義製薬(株)、*7大正製薬(株)、*8旭化成ファーマ(株)
	演題名	光安全性評価のためのROSアッセイ多施設バリデーション
	学会名,発表年月及び場所	第３９回日本毒性学学術年会、平成２４年７月１８-１９日、仙台国際センター
4	発表者名	内野正、竹澤俊明*[1]、山下邦彦*[2]、小島肇、清水久美子、宮永裕子、五十嵐良明、西村哲司
	所属機関名	１：（独）農業生物資源研究所、２：株式会社ダイセル
	演題名	ビトリゲルチャンバーを培養担体とする皮膚感作性試験代替モデルを構成する細胞のサイトカイン産生能について
	学会名,発表年月及び場所	第３９回日本毒性学学術年会、平成２４年７月１８-１９日、仙台国際センター

5	発表者名	六川潤美[*1]、榊原隆史[*1]、伊藤浩太[*1]、河村公太郎[*1]、古川正敏[*1]、藤平司朗[*1]、市戸等[*1]、並木正人[*1]、平賀武夫[*2]、小島肇、松浦正男[*1]
	所属機関名	１：（株）化合物安全性研究所、２：酪農学園大学
	演題名	眼刺激性評価のための牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法（BCOP法）
	学会名, 発表年月及び場所	第３９回日本毒性学学術年会、平成２４年７月１８−１９日、仙台国際センター
6	発表者名	小島　肇
	演題名	皮膚刺激性評価法の最新動向
	学会名, 発表年月及び場所	皮膚基礎研究クラスターフォーラム、平成２４年７月２６日、タワーホール船堀